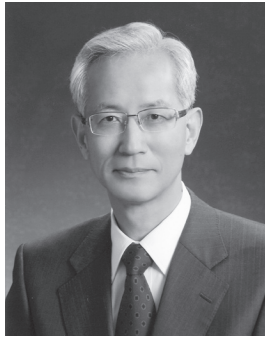


佐竹正夫教授業績目録

平成 24 年 3 月  
東北大学史料館  
(著作目録第 1198 号)



## 佐竹正夫教授略歴

生年月日	昭和23年3月8日
本籍地	福岡県
職名	教授
所属	環境科学研究科

### 最終学歴

昭和46年3月	早稲田大学商学部卒業
昭和48年3月	一橋大学大学院経済学研究科理論経済学専攻修士課程修了
昭和50年5月	オーストラリア国立大学大学院経済学研究科博士課程入学
昭和53年2月	オーストラリア国立大学大学院経済学研究科博士課程退学
昭和54年3月	一橋大学大学院経済学研究科理論経済学専攻 博士課程単位取得満期退学

### 職歴

昭和54年4月	小樽商科大学商学部経済学科講師
昭和55年10月	小樽商科大学商学部経済学科学部助教授
昭和63年10月	小樽商科大学商学部経済学科教授
昭和63年10月	一橋大学経済研究所講師（併任）（平成64年3月まで）
平成6年4月	東北大学大学院国際文化研究科国際文化交流論専攻 経済交流論講座教授
平成9年5月	国際経済学研究のため在外研究員としてオーストラリア国に出張 （平成10年2月まで）
平成10年7月	学生生活協議会学寮専門委員会委員長（平成10年9月まで）
平成15年4月	東北大学大学院環境科学研究科環境科学専攻教授
平成22年4月	東北大学大学院環境科学研究科副研究科長（平成23年3月まで）

平成24年3月 東北大学を定年退職

## 学 位

昭和48年3月 経済学修士（一橋大学）

## 学会等における活動（役職等）

日本国際経済学会理事（平成2年～6年，平成17年～ ）

## 社会における活動

北海道科学技術審議会委員（平成4年～平成6年）

大学入試センター教科専門委員会委員（平成11年～平成13年）

公正貿易センター『サービス貿易に係る緊急セーフガード措置検討会』委員

（平成12年～平成13年）

名古屋大学経済学研究科外部評価（研究評価）委員会委員（平成20年度）

## 非常勤講師

北海学園大学（昭和59年度～平成4年度）

釧路公立大学（平成1年度，平成3年度，平成4年度）

小樽女子短期大学（平成3年度～平成4年度）

東北学院大学（平成7年度～平成13年度，平成19年度～ ）



## 業 績 目 録

## I. 著書・編書（共著書等含む）

1. 現代経済学講義（共著）  
早見弘・鶴沢秀・若林信夫・今喜典・佐竹正夫,  
昭和61年3月, 中央経済社
2. 国際経済学入門（共著）  
所哲也・林原正之・佐竹正夫・船津秀樹,  
平成3年4月, 中央経済社
3. 基礎国際経済学（共著）  
井川一宏・林原正之・佐竹正夫・青木浩治,  
平成12年5月, 中央経済社
4. D. グリーナウェイ = C. ミルナー『産業内貿易の経済学』（翻訳書）  
小柴徹修・栗山規矩・佐竹正夫,  
平成20年, 文眞堂

## II. 調査報告書（科研費報告書など）

1. 国際経済摩擦とわが国の産業政策（特定研究特別経費研究成果報告）  
佐竹正夫ほか, 昭和62年3月, 小樽商科大学
2. 国際交流における基本的因子の今日的研究（特定研究特別経費研究成果報告）  
佐竹正夫ほか, 平成8年3月, 東北大学
3. APEC 貿易自由化の経済的計測に関する緊急調査（経済企画庁委託調査報告）  
佐竹正夫ほか, 平成9年3月, 日本リサーチ総合研究所
4. 循環資源の貿易とリサイクル・システム  
（科学研究費補助金研究成果論文集）  
佐竹正夫（編）, 平成21年6月, 東北大学

## III. 研究論文（単独執筆・共同執筆）

1. 不完全雇用経済下の貿易と資本蓄積—低開発国のケース  
佐竹正夫, 『世界経済評論』(世界経済研究協会), 18巻11号, 19巻1号,  
昭和49年11月, 昭和50年1月
2. 2財3要素モデルにおける貿易と生産要素移動  
佐竹正夫, 『一橋研究』(一橋大学), 28号, 昭和49年12月
3. 外国貿易と独占  
佐竹正夫, 『一橋研究』(一橋大学), 3巻3号, 昭和53年12月
4. 資源開発の利益と分配  
佐竹正夫, 『一橋論叢』(一橋大学), 81巻5号, 昭和54年5月
5. 垂直貿易の理論  
佐竹正夫, 『世界経済評論』(世界経済研究協会), 24巻4号, 昭和55年4月
6. 垂直貿易と鉱物資源  
佐竹正夫, 山澤逸平・池間誠編 『資源貿易の経済学』(文眞堂),  
昭和56年9月
7. 幼稚産業保護論—幾何学的アプローチ—  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 32巻2, 3合併号, 昭和57年12月
8. ヒュームの国際収支調整機構について  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 34巻4号, 昭和59年3月
9. 垂直貿易と所得分配  
佐竹正夫, 『一橋論叢』(一橋大学), 92巻4号, 昭和59年4月
10. ヒュームの国際収支調整機構について  
佐竹正夫, 『国際経済』(日本国際経済学会), 35号, 昭和59年9月
11. 垂直貿易と資本移動  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 35巻2, 3合併号, 昭和60年1月
12. 産业内貿易における「集計」問題  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 37巻1, 2, 3合併号, 昭和62年1月
13. 新保護貿易主義の水準と特色—inventory approachによる—  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 38巻1号, 昭和62年7月

14. リカード・モデルと経済厚生  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 38巻3,4号, 昭和63年3月
15. 補助金の経済分析と GATT  
佐竹正夫, 『貿易と関税』(日本関税協会), 38巻4号, 平成2年4月
16. 補助金と相殺関税の経済分析－完全競争モデル－  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 41巻4号, 平成3年4月
17. 特恵的取り決め, 数量制限, 及びサービス貿易  
佐竹正夫, 『商学討究』(小樽商科大学), 42巻4号, 平成5年3月
18. 経済雑誌の調査  
佐竹正夫・今野茂代, 『商学討究』(小樽商科大学), 44巻1,2合併号, 平成5年10月
19. 市場開放をめぐる日米貿易交渉: 概観  
佐竹正夫, 『国際文化研究科論集』(東北大学), 2号, 平成6年12月
20. 自動車と自動車部品の日米貿易交渉  
佐竹正夫, 『国際文化研究科論集』(東北大学), 3号, 平成7年12月
21. 輸入自主拡大の検討  
佐竹正夫, 『駿河台大学経済論集』(駿河台大学), 5巻2号, 平成8年3月
22. 日本の市場は閉鎖的か: 半導体のケース  
佐竹正夫, 『国際文化研究科論集』(東北大学), 4号, 平成8年12月
23. Trade Conflict between Japan and the United States over Automobiles and Automotive Parts  
佐竹正夫, 『国際文化研究科論集』(東北大学), 7号, 平成11年12月
24. 摩擦は沈静化したか－1990年代の日米貿易交渉－  
佐竹正夫, 『国際文化研究科論集』(東北大学), 8号, 平成12年12月
25. Trade Conflicts between Japan and the United States over Market Access; The Case of Automobiles and Automotive Parts  
佐竹正夫, *Pacific Economic Papers*, (The Australian National University), No.310, 平成12年12月
26. 日米通商摩擦の展望  
佐竹正夫, 池間誠・大山大道編 『国際日本経済論』(文真堂), 平成14年2月

27. アンチ・ダンピング措置をめぐる日米摩擦  
佐竹正夫・柴山千里、青木健・馬田啓一編『日本の通商政策入門』(東洋経済新報社)、平成14年9月
28. 貿易摩擦と GATT システム  
佐竹正夫、井川一宏編『IT 時代と国際経済システム』(有斐閣)、平成14年11月
29. アンチ・ダンピングと WTO の紛争解決手続き  
佐竹正夫、馬田啓一・浦田秀次郎・木村福成編『日本の新通商戦略』(文眞堂) 平成17年9月
30. 原油高騰と世界経済の危機管理  
佐竹正夫・櫻井眞、田中素香・馬田啓一編『国際経済関係論』(文眞堂)、平成19年9月
31. 自由貿易と環境保護 - GATT20条をめぐる貿易紛争の経済分析 -  
佐竹正夫、青木健・馬田啓一編『貿易・開発と環境問題』(文眞堂)、平成20年9月
32. 地球温暖化防止と自由貿易体制  
佐竹正夫、『世界経済評論』(世界経済研究協会)、53巻10号、平成21年11・12月
33. Export of Recyclable Materials and the Japanese Recycling System: The Case of Used Plastic Bottles,  
佐竹正夫・山重芳子・菊地徹, *The International Economy*, No.14,  
平成22年12月
34. 東アジアにおけるリサイクル貿易の現状と課題  
佐竹正夫・斉藤崇、馬田啓一・浦田秀次郎・木村福成編『日本通商政策論』(文眞堂)、平成23年3月
35. 経済雑誌の調査 - 20年後の再訪 -  
今野茂代、佐竹正夫、成田淳司、松村玲  
『商学討究』(小樽商科大学) 62巻4号、平成24年3月

#### IV. 口頭発表 (学会報告など)

1. 垂直貿易の理論  
佐竹正夫、北海道経済学会、昭和54年11月、札幌



2. ヒュームの国際収支調整機構について  
佐竹正夫, 日本国際経済学会, 昭和58年10月, 東京
3. Trade Conflict between Japan and the United States over Automobiles and Automotive Parts  
佐竹正夫, 豪日研究センターセミナー, 平成9年12月, キャンベラ
4. 日米通商摩擦  
佐竹正夫, 日本国際経済学会, 平成12年10月, 東京
5. GATT/WTOにおける環境保護をめぐる貿易紛争の経済分析－初期の二つの紛争について－  
佐竹正夫, 日本国際経済学会, 平成16年10月, 東京
6. 循環資源の貿易とリサイクル・システム－PETボトルのリサイクルを事例として  
佐竹正夫, 日本国際経済学会関東部会, 平成20年12月, 東京
7. 循環資源の輸出とリサイクル制度－PETボトルのリサイクルを事例として－  
佐竹正夫・菊地徹・山重芳子, 環境経済・政策学会, 平成21年9月, 千葉
8. 循環資源の輸出とリサイクル制度－PETボトルのリサイクルを事例として－  
佐竹正夫・菊地徹・山重芳子, 日本国際経済学会, 平成21年10月, 東京

## V. 書評・紹介

1. M. B. クラウス, 池間誠他訳『図解 国際経済学』(文眞堂, 昭和56年)  
麻田四郎・佐竹正夫, 『世界経済評論』, 25巻5号, 昭和56年5月
2. 池間誠『国際貿易の理論』(ダイヤモンド社, 昭和54年)  
佐竹正夫, 『商学討究』, 36巻1号, 昭和56年10月
3. 小田正雄『国際経済学の基礎』(マグローヒル好学社, 昭和56年)  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 25巻11号, 昭和56年11月
4. S.P. マギー, 国本和孝訳『国際貿易』(好学社, 昭和57年)  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 27巻3号, 昭和57年3月

5. 佐々波揚子, 浦田秀次郎『サービス貿易』(東洋経済新報社, 平成2年)  
佐竹正夫, 『貿易と関税』, 38巻10号, 平成2年10月
6. 麻田四郎『国際経済論』(文眞堂, 平成3年)  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 36巻4号, 平成4年
7. 田中茂和『国際経済と産業組織－寡占と貿易・直接投資・収支調整』(関西大学出版部, 平成7年)  
佐竹正夫, 『関西大学商学論集』, 40巻6号, 平成8年2月
8. 青木健・馬田啓一編『日米経済関係－新たな枠組と日本の選択』(勁草書房, 平成8年)  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 40巻9号, 平成8年9月
9. 池間誠編『国際経済の新構図』(文眞堂, 平成21年)  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 53巻10号, 平成21年11・12月
10. 青木健・馬田啓一編『グローバリゼーションと日本経済』(文眞堂, 平成22年)  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 54巻4号, 平成22年7・8月

#### VI. 解説・評論等(新聞・広報誌等での解説記事、事典の執筆等)

1. EC統合、米加自由貿易協定とその影響－現実的なアプローチとして評価される『米加自由貿易協定』  
佐竹正夫, 『景気観測』(国民経済研究協会), 748・9合併号, 昭和63年7月
2. “日米自由貿易協定に関する米国国際貿易委員会の報告書”を読む  
佐竹正夫, 『貿易と関税』, 第37巻第1号, 平成1年11月
3. 「南北貿易・東西貿易」「サービス貿易の自由化」  
佐竹正夫, 大山道広・寺西重郎編『国際金融・貿易講義』(東洋経済新報社)  
平成1年12月
4. 小島教授のコメ自由化論へのコメント－コメの自由化に関する小島清教授の論文に対する識者の見解  
佐竹正夫, 『世界経済評論』, 35巻11号, 平成2年
5. Comment on “Economic Precondition for the Asian Regional Integration”  
佐竹正夫, Ito, T and A. O. Krueger (eds.), *Macroeconomic Linkage*, The University of Chicago Press, 平成5年12月

6. 通商政策の課題と展望  
佐竹正夫, 『産業年報』(国民経研究協会), No.20, 平成7年3月
7. 貿易摩擦と国際経済体制  
佐竹正夫, 貝塚啓明・香西泰・野中郁次郎監修 『日本経済事典』  
(日本経済新聞社), 6章IV
8. R. ガーノー・P. ドライスデール・B. スミス 「オーストラリアの鉱業開発  
における貿易と投資問題」(翻訳)  
佐竹正夫, 山沢逸平・池間誠編 『資源貿易の経済学』(文真堂、昭和56年9月)
9. M. フリードマン・J. トービン 「政府は成長をリードできるか」(翻訳)  
佐竹正夫, TRENDS (アメリカ総領事館), 20巻5号, 平成2年1月